



広島の院内託児ルーム

働くママ応援企業

Vol.7

ひまわり歯科

新しい歯科医院のカタチ

子育て支援の充実で医療現場の働き方を改善

安

芸郡海田町に開院して今年で12年目を迎える『ひまわり歯科』。昨年9月に幸町から昭和和中町に移転したのを機に、スタッフ専用の院内託児ルームを設けるなど、医療界では育児支援の先端を走る歯科医院です。

歯科医師、歯科衛生士、歯科助手、保育士、受付、総務と、総勢34名のスタッフが働いており、そのほとんどが女性スタッフ。「患者様の満足度を上げるためには、女性のライフスタイルを考慮して、スタッフが働き続けられる環境を整えることが先決」という岡本院長の考えのもと、熱意あふれるスタッフと協力し合って子育て支援の環境づくりを進めています。

明るく開放的な院内は完全バリアフリーで、診察設備を充実させると同時に、二階には患者さん用の託児ルームや授乳室を設置。二階にはスタッフ専用託児ルームを配し、総勢8名の経験豊かなベテラン保育士が子ども達を預かっています。

託児ルーム内は保育士の工夫に溢れており、毎月発行される新聞「託児ルームだより」は保育士手づくりのもの。毎日小さなイベントを行い、一冊の出席簿と日誌を作り、その日子ども達とどんな風に過ごしたかママ達にフィードバック。これらの手厚

い保育内容から鑑みても医院で働くすべてのスタッフの、仕事に対する厳しい姿勢とクオリティの高さとうかがえます。

過酷な職場環境ゆえに出産を機に退職する女性が多く、子どもがある程度成長してから復帰しても、日々進歩していく医療技術についていくのは本人も病院側も大きなパワーがいるとのこと。

ひまわり歯科の今後の課題は、長期間のブランクを空けなくてもよいように、仕事と育児が両立できる環境をさらに向上させ、定着させていくことにあります。

院内の明るさはスタッフの笑顔と元気さによるもので、まさに環境の充実がチームワークの強さにつながっているのだと実感しました。

◀治療に専念している
関谷先生



▲関谷先生の双子のお子さん、りょうたくんとゆうたくん。のびのび育っています。

医院よりひとこと

院長 岡本 佳明先生

私達の仕事は職人技に近いので積み重ねが大事です。出産を終えた女性が資格を眠らせるのではなく、復帰して、元気に安心して仕事に従事できる、そんな環境の維持が人手不足の医療界を支え、質の高い医療につながり、患者様に安心して通院してもらえる。自分の仕事に誇りを持った、気心の知れた仲間と長く仕事をしていくためにも、今後も育児支援に力を入れていきます。



働くママよりひとこと

歯科医師 関谷 香織先生

医院の移転を機に職場復帰して半年経ちますが、子ども達は託児スペースで毎日楽しそうに遊んでいます。保育士さんが毎日ちがう遊びで子ども達を楽しませてくれます。またその日の子ども達の様子をきちんと教えてくれたり、何かあった時はすぐに報せてもらえるので、安心して仕事に集中できます。仕事と育児のバランスが取れてストレスを溜めることがないので、毎日が充実しています。

